

令和7年度河北潟干拓地「ひまわり村」開村式概要

1. 趣 旨

河北潟干拓地は、営農開始から約40年が過ぎ、今では麦・大豆やれんこん・スイカ等を中心とした県内有数の畑作地帯として定着しています。

「ひまわり村」は、この干拓地内で保育園児がひまわりの種蒔きから開花までを通じて農業へ親しみ、ふるさとの水と土へのいつくしみの心を育むことを目的として、平成7年度から行っています。植栽面積0.6haからスタートし「ひまわり村」は、現在2.3haまで拡大され、7月下旬には35万本のひまわりが咲き誇ります。(品種：観賞用ハイブリッドサンフラワーNEO)

2. 行事内容

今年度は、5月23日に2市2町の保育園児によって種まきが行われました。

開村式には園児にひまわりで造った迷路で遊び、ひまわりが持っている優しさと干拓地の豊かな自然環境に触れることにより、優しい心を持った子供達に成長することを願って「ひまわり村」を開村します。

(1) 日 時 令和7年7月25日(金) 午前10時より(少雨決行)

(2) 場 所 河北潟干拓地内(野菜集出荷場前)
河北郡津幡町字湖東242～245(4筆)

(3) 参加園児	[金沢市]	みなとこども園	33名
	[かほく市]	新化こども園	35名
	[津幡町]	実生こども園	39名
	[内灘町]	誠美幼稚園	28名
	合 計		135名

(4) 内 容

①開会の挨拶	ひまわり村名誉村長(石川県知事)	馳 浩
	ひまわり村村長(津幡町長)	矢田 富郎
②来賓紹介	副村長他(8名)	
③テープカット	関係者及び園児代表者(14名)	
④花束贈呈	ひまわりの花束を園児代表者に贈呈	
⑤迷路あそび	各保育園で迷路あそび(展望台まで)	

(5) そ の 他

令和6年能登半島地震の影響により河北潟干拓地内の道路で一部通行止めが発生しています。最新の道路状況については、「河北潟水土里ネットかんたく」のホームページ等でご確認ください。

3. 主 催 河北潟干拓地ひまわり村

(石川県、金沢市、かほく市、津幡町、内灘町、河北潟生産組合連合会、河北潟干拓土地改良区、グリーン・アース農地・水・環境保全組織)